

## 見附市教育センターだより



〒954-0052

見附市学校町 2 - 7 - 9

電話/Fax 0258-62-2343

E-mail [mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp](mailto:mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp)

令和元年 11 月 25 日 NO.8

見附市月見台：深まる秋（銀杏）



## 学習指導要領改訂の目玉は「情報活用能力」の育成

見附市小学校校長会 会長 高橋 正則

先日、文部科学省 矢野和彦 大臣官房審議官の講演を聞く機会があった。

矢野氏は、OECD の学習到達度調査において世界トップレベルの学力水準を維持するとともに、全国学力・学習状況調査においても、成績下位の都道府県の平均正答率と全国平均正答率との差が縮小するなど、これまでの「日本型学校教育」に対する成果を強調する一方、子どもたちの語彙力や読解力についての課題を指摘した。

### ◆情報活用能力は基盤的な学力

情報活用能力は、読み・書き・そろばんと同等の能力であり、今回の学習指導要領改訂の目玉は「情報活用能力」の育成にある。

エアコンの補助事業に手を上げる自治体は多かったが、Wi-fi 設備の補助金に手を挙げる自治体が少ない。今後、ICT 設備の格差が広がり、子どもの情報活用能力に地域差が出るのが懸念される。

### ◆教員の採用倍率

小・中・高・特別支援学校の教諭・養護教諭・栄養教諭の採用倍率を見ると、平成 30 年度は 4.9 倍、平成 29 年度は 5.2 倍であった。

また、小学校教諭の受検者数を見ると、昭和 60 年度までが 6 万人超、ここ 10 年間は 5 ～ 6 万人の間で推移してきた。受検者数の推移からは、教員が不人気な状況とは見られない。

教員の質が低下したとか、職業のブラック化等の負の情報を、教師が発信しない。発信しても状況は改善しない。むしろ、如何に魅力ある職業であるかを発信し、若手にやり甲斐と希望をもたせることが大切である。

### ◆働き方改革

特効薬はない。「千里の道」を、一步一步着実に進めていくしかない。

次代を切り拓く子どもたちに、文章を正確に理解する読解力、教科固有の見方・考え方を働かせて自分の頭で考えて表現する力、情報や情報手段を主体的に選択し活用していくために必要な情報活用能力、対話や協働を通じて知識やアイデアを共有し新しい解や納得解を生み出す力を、着実に育てていくことが求められる。

自校の教育課程は、この力を育む教育になっているのか、改めて点検する必要がある。

## 巻頭写真に寄せて 「見附市街地も紅葉まっさかりです」

◇巻頭写真は、見附特別支援学校入口（名木野小学校体育館脇の方が、わかりよいでしょうか）の銀杏並木です。10月中旬に色づき始めて、下旬には多くの木に、黄色が増し大変に美しい並木を見ることができました。（同じ場所に植わっている銀杏なのに、陽の当たり方でしょうか。風の当たり方でしょうか…。一本一本の木の色づきが違ってきます。）



立派な土俵（月見台）

両校の関係者ばかりでなく、総合体育館に来られた人、脇の道路を通る人たちも、存分に秋を楽しむことができましたに違いありません。銀杏の真っ黄色は、何とも言えない美しさです。

◇さて、秋の紅葉シーズン真っ盛り。週末になるとテレビや新聞では、県内はもとより、日本各地の紅葉情報を紹介していますが、見附市街地でも「もみじ」の美しい家、バラが見事な花を咲かせている家もあります。天気の良い休日に市街地をぶらぶらすると、様々な新たな発見をすることができます。私が発見したものを一つ紹介します。上の写真は、総合体育館の奥にある土俵です。大相撲の地方巡業が、いつ見附にきても、大丈夫な施設です。



◇立派な土俵は、ここにしかないだろうと思っていたのですが、何と見附駅前の大山神社に行ったら、ここにも土俵があり驚きました。さらに、この神社は寒さ対策でしょうか、お参りする場所が、ステンレスの雨戸でぐるっと覆われて家の玄関のようになっています。この戸の内側から17日(日)に、アルカディアで開催された『アカウタビリティ』のポスターが貼られ、見附市民の教育にかける大きな期待を感じました。皆さんも、散策で色々な発見をしてみませんか。

## コラム 「本を読みましよう…あなたの困り感が軽くなったり、やる気が出たりしますよ」

◆先日、友人から「新採用（教員）の人が急に辞めたので、その人の代わりに今、学級担任をやっている。」と聞きました。また違う人から、同じように「採用から数年の若い先生が辞め、その代わりがいなくて困っている。」とも聞きました。二つとも他市の話ですが、若い先生方が、「担任として、学級経営や学習指導が上手く進められない。保護者や教職員との連携が、上手くいかない。」等で、悩まれての退職だそうです。経験を積まれた人でも、同じ悩みを抱え困られている人もいます。みんな自分の仕事で一杯一杯の毎日ですが、ぜひ、職員間で元気な挨拶をし、お互いの様子（表情や会話、服装等）についても確認し合ってください。そして、何か感じたら「困っていることはない？」などと、優しく相談に乗って欲しいものです。困り感が小さなうちに解決ができ、子どもたちと笑顔で、向き合える日々を過ごしたいものです。

◆さて、忙しい日々ですが、先生方に読んで欲しい本があります。灰谷健次郎の「兎の眼」です。子どもの頃に読まれた人もいるでしょう。「厳しい環境の中でも、たくましく生きる子どもたちと、若い教師の交流を描いた」児童文学です。小学校の高学年でも読めますが、教師である私たちが、学ぶことの多い作品だと思います。上述の「担任が抱える様々な悩み」は、教師なら誰もが、大なり小なり持っています。新採用の小谷芙美先生が、周りの先生方の支えで、次々に起こる問題に悩みながらも、対処をしていく様子は、私たちに示唆を与えてくれます。

また、研究授業で、学習障害（書くことが苦手）の鉄三君が、初めて作文を書くというクライマックス場面では、大感動を得たり、教師の仕事に喜びを感じたりと、大きな力がもらえます。

◆校内研修や県セン、附属を始め各種の研修会・研究会、当センターの「4時から夢塾」等、学ぶ機会は多くあります。そこで得た知識や技能は、有益なものになっているはずですが、ただ、今、抱える悩みの解決には、それに関係する本や教育書を読むことが大切です。「兎の眼」は私を勇気付けてくれました。ぜひ皆さんも、本から解決策や元気を頂いてください。（こ）



## <4時から夢塾> 示範授業:その1

第12回「4時から夢塾」は、10月18日(金)に、今町小学校で、新潟大学教育学部附属長岡小学校の平野秀穂先生を講師に、「国語の授業改善」をテーマに開催しました。提案授業・ミニ講座の概要です。



### (1) 4年1組 単元名:「つなげて読もうー『犬』ー」 (授業の流れを記す)

犬 金子みすず

- 1 うちのダリアのさいた日に
- 2 酒屋のクロは死にました。
- 3
- 4 おもてで遊ぶわたしらを
- 5 いつもおこるおばさんが
- 6 おろおろないておりました。
- 7
- 8 その日 学校でそのことを
- 9 おもしろそうに話してて
- 10
- 11 ふっと□□ になりました。

- 1 金子みすずの「犬」の詩を板書し、音読をする。
- 2 詩の語句の確認をする。(ダリアの色、わたしらは誰等)
- 3 「そのことを」とは、何のことですか?  
C クロの死 おばさんがないていたこと…
- 4 詩の中から、反対(対比)の言葉を探す。  
C おこるーなく さいたー死 ダリア(赤)ークロ(黒)
- 5 □□の中に、何が入ると思う?  
C さびしく さみしく かなしく かわいそう
- 6 なんで、ここに『さみしく』が入るか理由言える人?  
…「今日は、◎なぜ『さみしく』が入るかを考えます」  
(さみしくの理由を、ワークシートを使って仲間と話し合う)  
・おもしろそうに話してて、何で『さみしく』なったの?



・『さみしく』なったのは、誰ですか? C おばさん 女の子 おばさんの子ども…

7「なるほど」と思った根拠や理由を、ワークシートに付け足す。(自分の考えの整理の場)

### (2) 協議会 ……平野先生の講話

○「異なる考えでも許容される課題について、仲間との話し合いを通して、自分の根拠や理由を見直すこと。さらに、それを最後まで続けるように促すことが、資質・能力を育む有効な手立てとなる。」ことを、この授業で見てもらった。このために、自分の立場や見方の自覚を促す教材や資料を提示することが大事である。



### <参加者の声>

- 初対面の子どもの心の掴み方、机間指導でのメモの取り方や声のかけ方等を学ばせてもらった。
- 教材がもつ価値を教師が捉え、どうゴールを設定して子どもと授業を進めていくか。思考ツールの活用や子ども同士の対話の在り方も含め、大変勉強になった。
- 課題の提示に悩んでいるが、詩を読みながら、自然と課題に迫っていく工夫が勉強になった。
- 複数の根拠を見つけることが自然にできていて、論理的思考を育てるのに、有効だと思った。
- 詩の学習は、どうやって進めたらいいのだろうと悩むことが多いので、とても参考になった。

## <4時から夢塾> 示範授業:その2

第13回「4時から夢塾」は、10月23日(水)に南中学校で、新潟大学教育学部附属長岡中学校の恩田隆介先生を、講師に迎えて「社会科の授業改善」をテーマにして開催しました。以下、概要です。



### (1) 授業:1年 中世の日本 ~中世の絵図資料から、武士の生活とおとぎ話の秘密に迫ろう~

- T 事前(レディネス調査)に、生徒から書いてもらった「武士のイメージ」を紹介する。  
 C カッコいい 強そう いつも戦っている 鎧を着ている 織田信長 鉄砲隊 幕末 新撰組  
 T ◎ («一遍上人絵伝」を提示して) 中世の武士は、どのような生活をしていたのだろうか?  
 C 門に見張りがある 馬がいる(戦いのため) 堀や塀がある(敵が入ってこられない) 弓がある(戦いのための武器が置いてある) 屋敷の外観が地味(お金は戦いのために使う)  
 T 絵図に描かれている四種類の動物を見つけよう。 →C:馬 鳥(鷹) 犬 猿



- T 馬→早馬や戦い用(笠懸・流鏑馬) 鳥→鷹狩 犬→番犬, 犬追物 猿→守り神...なぜ?  
 T ○なぜ、猿が守り神なのだろう? 桃太郎の物語がヒント...桃太郎と三匹の動物と鬼退治 鬼は寅のパンツを履き角をもつ: 丑寅の方角→鬼門 対極に位置する猿(申)が守り神  
 T ○(武士の館のジオラマ)なぜ、当時の武士は水田や畑などをもち、農民の仕事をしていた? 農業をしないと生計が立てられなかった 戦いがなければ収入がなかった

### (2) 協議会: 恩田先生指導...「資料を活用した授業の提案」

- ・生徒に葛藤を生ませたり、認識とのズレを生ませたりする資料を集め、教材化を図ること。
  - ・資料提示で重要なこと...資料提示の「タイミング」と資料を基にした「問い」の二つである。
- 質問 Q1 限られた時数の中でどのような授業を行う? Q2 資料はどこから得てくる?  
 A1 軽重はつけないといけない。今回の絵図は鎌倉仏教でもいい。資料は画質の良いものを。  
 A2 資料は、まずは教科書を深く読み取る。私は、県立図書館の美術の所で探すことが多い。

### <参加者の声>

- 二つの絵図の読み取り(追究)から、中世の武士像に迫る授業、とても参考になった。
- 資料の提示、どう問いかけると教師の意図が達成されるのかがわかり、参考になった。
- 生徒の興味をくすぐる資料提示、明確な指示やグループの気づきを共有する等、スムーズだった。
- 自分が悩んでいる内容(中世)の解決方法を知ることができた。実際の授業を見て勉強になった。
- 社会科における「どうして」「なんで」の問いかけの大切さを考えることができた。
- この絵図の授業を行ったが浅いものだった。今回、より中世の武士の生活がわかり勉強になった。





10月31日(木)、信濃町立信濃小中学校の研究会「学校づくりを考える日」に参加した。研修のねらいは、子どもの姿を通して、TT指導などの学習指導体制や、9年間の学びを見通した、先進的な小中一貫教育の様子について学ぶことである。

## 1 視察校について

### (1) 視察校の概要 =長野県信濃町立信濃小中学校=

- ・平成24年4月に5小学校と1中学校が統合して、施設一体型小中一貫教育校として開校。平成28年度から義務教育学校に移行。29年度から小中一貫カリキュラムの開発を推進し、学びの充実を図っている。
- ・児童生徒は493人。初等部（1～4年）では、学級担任と支援員によるTT指導を実施。高等部（5～9年）では、教科担任制でTT指導を行い、個別支援体制を行っている。

### (2) 特色 =教育理念「信濃町に誇りを持ち、次代を担う人材の育成」=

「学びに向かう力と温かな人間性の涵養」を目指して、次の三点に力を入れている。

- ・重点事項1・・・「学び」では、しなのスタイル（授業約束等）に基づいた一貫した指導。
- ・重点事項2・・・「人間性」では、誰もが安心して過ごせる生活環境の整備。
- ・重点事項3・・・「地域との連携」では、地域ボランティアの充実と地域で学ぶ機会の充実。

## 2 研修について

### (1) 研修内容 授業参観、授業後の協議会への参加、アトラクション（合唱鑑賞）鑑賞

### (2) 研修で学んだこと

- ① 参観した学級では、黒板の周り全体がすっきりとして授業に集中しやすい環境にあった。
- ② しなのスタンダードの「授業の約束」が掲示され、子どもたちは落ち着いて学習していた。
- ③ どのクラスもTT指導があり、すべての子どもが支援を受けやすい環境にあった。
- ④ 二人の司書教諭が在駐する広い図書館があり、ラーニングセンターとして活用されていた。

### (3) 自校の取組での改善 \* (2)に、対応した自校の改善策

- ① 教室前面を整理するとともに分かり易い板書を心がけていく。
- ② 「学びの約束」が徹底できていない面もあり、繰り返しの声かけを学校全体で行っていく。
- ③ 見通しをもたせて安心して動ける配慮やUDの視点を取り入れた授業を行っていく。
- ④ 見附市でも司書教諭を配置して頂けると、子どもたちの読書の推進に大きくつながる。

### (4) 感想とまとめ

- ① UDが充実しており、一人一人を大事にして、9年間連続した学びに繋がっていた。
- ② 発達段階もふまえて、児童生徒理解を丁寧に行うとともに、子どもの実態や、教師や地域のニーズに合わせたカリキュラム開発を行うことが重要だと感じた。
- ③ 地域と連携した総合学習の教科カリキュラムがあり、9年間を見据えた深い学びの実現に良さを感じた。小中一貫校は、9学年が一体で行う行事が多く、行事の精選が課題とのことだった。自校でも、中学校入学後に戸惑う子どもがいる。中学校と交流の機会が年に数回あると良いと感じた。引継ぎをきめ細かに行っていくことや、連携を密に行っていくことが大切である。

## <科学教育部> 11月の活動報告

### 単元別研修会

#### 小6「水溶液の性質」 11月21日(木)

いろいろな水溶液が身近にたくさんあります。しかし、実験で扱うものは塩酸やアンモニアなどの一般的に薬品に分類されるものです。水溶液は「水に溶けてとう明になったもの」と教科書にはありますが、見た目だけでなく、性質が広がっているという認識を子どもたちにもたせることが大切です。今回の研修では、紫外線をあてると発光する成分が溶ける「アオダモ」(樹木)と、BTB溶液を使った性質の確認を行いました。



**アオダモの成分が溶け出ると、紫外線に反応して光る性質に！**



**BTB溶液の入ったペットボトルに、二酸化炭素を入ると、色が変わり、へこみます。**

ただ何かが「溶けている」だけでなく、「性質がある」⇒「何かが溶けているはずだ。何が溶けているのかな？」と気づきや、思考のきっかけを作ってあげること子どもは考えながら授業に取り組みます。

また、酸性とアルカリ性についても、初めて学習する単元です。新学習指導要領では、日常生活との関連が重視されています。紫キャベツや飲料水などを用いて酸性とアルカリ性の実験をすることで、生活の中に理科の学習を持ち込むチャンスです。研修では「紅茶」を使って、簡単に酸性とアルカリ性を調べる実験を行いました。



**実はレモンティーの黄色はレモンの色ではありません。レモンの酸性に反応した色なのです。**

**左ー酸性 右ーアルカリ性**

この単元は、日常生活と関連が深い単元です。化学実験なので、薬品の準備が大変な部分もありますが、ちょっとした工夫で科学の楽しさを感じたり、興味をもって考えたりできる単元でもあります。研修会の内容に、興味がある方は、お気軽に教育センターにご連絡ください。

### 科学クラブ

田井小学校科学クラブ 11月13日(水)

「飛行の科学」



**ジャイロリングロケットとマグナスカップを作成**

今町小学校科学クラブ 11月14日(木)

「カルメ焼き」

**カルメ焼きは家庭でも簡単につくることが出来ます**

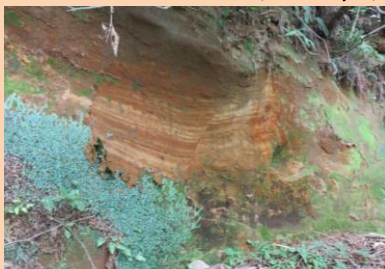




## 地層観察学習

### 新潟小学校 地層観察学習 11月15日(金) 小栗山の魚沼層

新潟小学校から、地層観察学習の依頼をもらいました。そこで、おとし市内の露頭を調査したリストから、今回の地層観察学習に適した露頭として、新潟小学校学区にある小栗山の露頭を選択し、6年生12名と一緒に観察に行きました。この場所はおよそ100万年前に形成された魚沼層が見られる場所です。天気にも恵まれ、中部北陸自然道沿いを行くと砂層があり、「斜交葉理(クロスラミナ)」と「正断層」を見ることができました。「斜交葉理」は流れの速い場所でできる堆積構造で地層の上下関係がわかるものです。さらに奥まで行くと、れき層と泥層が現れます。5年生の『流水のはたらき』で学習した、水によって運ばれた岩石が、角がけずられて丸みをおびていることを確認できました。



砂の層の部分に正断層が見れます



歩いていくとれき層と泥の層が見られます

今回観察した地層は、遊歩道沿いのため観察が容易です。見附市内でも露頭を観察できるので、現地を観察ができると子どもたちにとって良い体験になると思います。地層についての資料も研修資料公開に入っていますのでご覧ください。

## 土曜子ども科学教室

### 第4回土曜子ども科学教室 「色インクの成分を分けよう」 11月16日(土)

何気なく使っている色ペンでも、実はいくつかの色が混ざって作られています。今回の科学教室では「ペーパークロマトグラフィー」という方法で、水性ペンの色を分けてみました。色を分けると、きれいな模様のようになります。その模様をうまく使って、アート作品に挑戦しました。この方法は、各学校でも簡単にできますので、興味のある方は取り組んでみてください。



ろ紙に切れ込みを入れて水性ペンで点をつけて、水を吸わせるだけでできます！

## 12月の活動予定



### <単元別研修>

①中学校3年生「化学変化とイオン」	12月 5日(木) 15:45~16:45
②小学校3年生「じしゃくのひみつ」	12月12日(木) 15:45~16:45

### <要請研修>

①今町小学校 基礎技能研修会(初任研)	12月18日(水) 15:45~16:45
---------------------	-----------------------

## 科学教育部 兼任所員レポート

### 科学部実験ショー～地域連携フェスティバル（風雄祭）

今町中学校 倉田奈津子

年に1回、地域連携フェスティバル(風雄祭)の午後の部で、科学部が実験ショーを行う時期。今年で5回目。驚かせたい！と見せ方にこだわりました。

- 1年目は液体窒素。2年目は気体。
- 3年目は圧力。4年目は風船。
- 5年目の今年は・・・爆発！！



白衣を着たい！と借りてきた！  
自分たちで見せ方も考えた！

どうしたら驚いてもらえるかを考え、爆発するまでの時間を何度も計測して、野菜の量とオキシドールの量を決定しました。

絶妙のタイミングで（あれ・・・？失敗？と思ったころ）爆発し、大成功！！

アルコールロケットでは、「やりたい人」と声をかけると、3年生が3人でできて参加。紙コップの押しつけ方やアルコールの量、温める時間も考え抜いていたので大成功！！



ジャガイモ2g、オキシドールはふた1杯。ピーマンでも、人参でもO.K.  
低い天井に届いた・・・。

やり方は調べればすぐにわかるけれど、実際にやってみるとうまくいかないことが多く、改めて予備実験の必要性を感じました。

動画で簡単に過激な実験を見ることができる今の時代。子どもたちには地味かな？と思ったが、やはり実際に見るのは違うようです。

「教科書に写真が載っているでしょ・・・」よりは、実物を見せた方が効果絶大だと感じた1日でした。

後日、上越科学館館長の永井克之様が行った「かなりアブナイサイエンスショー」を全校生徒で見る機会がありました。大気圧でドラム缶がつぶれる・・・、の迫力にびっくり。百聞は一見にしかず・・・。



エタノール2プッシュ、30秒温め、紙コップはきつめがお勧め。

